

部附属病院 放射線部准教授 深津博先生の「医療コンサルジュ」の予定です。

(文責：山中温泉医療センター長 高橋一郎)

第6回九州・山口連合大会

会長：国立病院機構鹿児島医療センター院長 中村一彦



クリティカルパス展示

第6回九州・山口連合大会は平成19年11月23、24日、1478名の参加を頂き開催されました。基調講演で、宮崎理事長が「クリティカルパスの普及と今後の展開」、教育講演で、矢野先生が「医師の偏在と

地域医療」、前田先生が「医療事故の法律問題」、板井先生が「医療マネジメントと臨床倫理」とそれぞれのテーマでご講演頂きました。シンポジウムはクリティカルパス、医療安全、医療の地域格差、感染予防の4テーマ、ランチョンセミナーはジェネリック薬品、NST、医療安全、ICT、がん化学療法、DPCの6テーマで行われました。また、「医療安全講習会」も98名が参加され、クリティカルパス実践セミナー、一般演題222題、クリティカルパス展示85題で活発なご議論を頂きました。特別講演では、尚古集成館館長田村省三先生が今年のNHK大河ドラマ「篤姫」にまつわる話をして頂き、大変好評でした。全体としては大変いい学会が出来たと思っています。ご協力頂いた皆さんに感謝します。



中村一彦 会長

特別講演会場風景

第3回愛知県地方会

当番世話人：社会保険中京病院副院長 松田眞佐男



会場風景

平成19年12月1日(土)、デザインホール(名古屋市)にて367名の参加のもと愛知県地方会が開催されました。

今回は、2題の特別講演を設定し、順天堂大学医学部公衆衛生学准教授の

田城孝雄先生に「地域医療計画と地域連携クリティカルパス」、愛知県健康福祉部健康担当局長の五十里明先生に「愛知県における地域医療計画見直しの現状」と題してご

講演いただきました。ご参加の皆様には地域医療計画に関する情報を多面的に収集していただけたのではないかと考えます。また皆さんが熱心に講演に聞き入る姿が印象的でした。

一般演題では「地域医療連携」、「医療安全」、「医療システム関連」の3テーマで口演いただきました。いずれの口演も大変参考になり、日々の医療サービス提供に生かしていけるものであったと思います。

今後も本学会の活動を通じて「医療の質向上」に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

第7回東北連合会

世話人代表：岩手県立中央病院院長 佐々木 崇

日本医療マネジメント学会第7回東北連合会を、平成19年12月8日(土)、岩手県盛岡市「いわて県民情報交流センターアイーナ」において開催し、590名が参加しました。岩手開催が初めてとなるこの学会では、特別講演2題(ヒューマンファクターと医療安全=電力中央研究所社会経済研究所 佐相邦英先生、感染症診療の実際と問題点=長野県立須坂病院 高橋央先生)、一般演題27題(指導・教育、医療安全、感染対策、栄養管理・褥瘡対策、研修・管理、クリティカルパス)、シンポジウム2セッション(地域連携クリティカルパスの取り組みの現状と課題、外来がん化学療法における薬剤管理の実際)、ミニワークショップ3セッション(感染対策「院内ラウンドのポイントと実際」、退院調整活動の実際、転倒転落防止アセスメントシートの活用と評価)、クリティカルパス展示、ランチョンセミナー(病院における個人情報保護法への対応=坂総合病院外科 小熊信先生)と、かなり盛り沢山の内容でした。いずれの会場においても、熱気溢れる討論が交わされ、有意義な学会となりました。改めて学会参加者と協力を頂いた皆様に感謝を申し上げます。

(文責：岩手県立中央病院業務企画室長 菅原教雄)

第3回和歌山地方会

当番世話人：国立病院機構和歌山病院院長 西村 治



会場風景

平成19年12月8日(土)、和歌山地方会第3回学術集会を和歌山市の和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ)で開催しました。

本学術集会のテーマは「地域医療を支え信頼される病院を目指して」とし、

シンポジウムではそのテーマに基づき、和歌山県立医科大学附属病院など地域の中核となる5施設のシンポジストから、その取り組み状況などについて発表いただきました。

特別講演では、九州大学 鮎澤純子先生、東京医療保健大学 坂本すが先生をお招きし、「医療安全」、「看護専門職として育つ、育てる」についてご講演いただき、ランチョ